の大切さや太鼓づくりにかかわ 実態や歴史を通して、「いのち」 いう話に、約1、000人の参加 る人の尊さに気づいてほしいと 皮革産業にかかわる人の差別の

者の皆さんは熱心に聞き入りま

と題して講演をいただきまし ために〜浪速の歴史と産業〜\_ し、「みんなが幸せに生きていく 大阪における太鼓づくりなど

務局長の渡邊 浪速部落の歴史」編纂委員会事 8 月 23 日、出 実さんをお迎え 三雲市民会館で、

証 二 九 同和

う。 る。 渡邊さんは講演の中で

した。

の胴は、何百年という自然の木 物のいのちをいただいて、太鼓 国の重要文化財になっている。 から太鼓は感動するのかなと思 の生をいただいて作られてい だと思う。太鼓は、牛という動 宝になっている。 太鼓をたたいている人は人間国 **人間のあったかさで作っている** 太鼓づくりはいのちの大切さ そしてできあがった太鼓は そのいただいたいのちを、 しかし、太鼓

けて、教育・啓発に取り組んでいます。今回は、8月に開催 市では、 同和問題をはじめとするあらゆる差別の解消に向

第128号

人権·同和問題啓発広報 権同和政策 **8** 2 2 - 7 5 0 6 同和教育•啓発推進会議

マに年4回シリーズで開催しています「人権・

同和教育基礎

の様子を紹介します。

しました「同和教育講演会」と、さまざまな人権問題をテー

熱く語られました。 うことを感じてもらえたらいいと思う。」と りを通して、みんな同じいのちの重さだとい ことで人を判断してはいけない。 ようと、みんないのちの重さは一緒。そんな まれがどこであろうと、どんな仕事をしてい と結婚を反対されたりする現実もある。 のか。『太鼓作っているから結婚できない。 を作っている人はなぜ人から尊敬され 太鼓づく

第3回

**1月10**日(土) 9:30~11:30

市役所 くにびき大ホール ところ

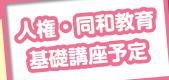
たけだ かずひこ 竹田和彦さん 講 師

(㈱タケダ造園 代表取締役)

影山晃司さん (㈱影山呉服店 代表取締役)

題「光をあてる経営~皆が輝く職場へ~」

社員の働きやすい環境を作ることがお客様満足と地 域貢献につながると考え、社内の環境改善や人材育 成などに取り組んでおられる若手経営者のお二人の 取組を紹介します。





竹田和彦さん



影山晃司さん

## 第1回 9月6日土

取り組んでおられる河野美江ささひめ」を発足して支援活動に 支援について」と題して講演を まね性暴力被害者支援センター の回復を支援する任意団体「し していただきました。 んを講師に招き、「性暴力被害者 性的な暴力を受けた人の心身

き合いについて改めて考えるよ すくお話ししていただき、お互 の現状やその対応の仕方につい い機会となりました。 いの人権を大切にした男女の付 て、実例を交えながらわかりや デートDV、性暴力被害など

「参加者の声」

身近な地域での実例や取組に

ついて紹介いただき、貴重な

りたいと思います。 (40代女

と思います。 考になりました。被害者のこ 制など総括的な話を聞き、参 性暴力被害の状況や対応、 した講演、研修の場が大切だ つながるおそれもあり、こう し穴もこうした性暴力被害に ました。最近のスマホの落と ころの傷は大変なものと感じ (60代男性)

ました。

ミュニケーションが必要。 と理解できました。 切にする心とその実践なのだ ろうとする努力は、相手を大 手とコミュニケーションをと 平等な関係を保つには、 (50代男 相 コ

> と題して講演をしていただき 千晶さん夫婦を講師に招き、 一部落差別と向き合う私たち\_ 第2回 滋賀県から石井眞澄さん、 10月4日出

越えてこられました。 送っておられますが、 も変わり、幸せな夫婦生活を 親も人権教育をとおして意識 さん、現在は、眞澄さんの両 でにはさまざまな困難を乗り 付き合っていたときに両親の 反対に遭った経験のある眞澄 以前、 和地区で育った千晶さん 同和地区出身者と それま

ていることに気づくことで、 とには、これは間違っている 相手の気持ちがわからないこ じゃない。 ることもできる。人間は一人 アドバイスしたり周りを助け おして、正しいこと・間違っ きないと思う。人権学習をと とかこれは正しいとか判断で をとることで助けてもらえ 石井さんは、「人の痛み、 コミュニケーショ

思います。

被害にあわない方

です。年頃の子どもがいるの きました。参加してよかった お話をたくさん聞くことがで

で、今日のお話を伝えたいと

平成26年度 出雲市人権・同和教育基礎講座

時、知人が被害にあった時に、 が良いですが、被害にあった

適切な対応ができる親子にな

を学ぶことができました。 らの行動のヒントになること たらなと思う。」と話され、 きる人をたくさん作っていけ ることもある。 人権教育の大切さや、 自分の信頼 これか



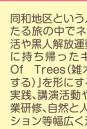
## 第4回

2月4日(水) 13:30~15:30

市役所くにびき大

師

手をつなぐへ」



同和地区というルーツで生まれ、十数年にわたる旅の中でネイティブアメリカンとの生 に持ち帰ったキーワード「Community Of Trees(雑木林が育つ森〈地域〉を創造 する)」を形にするため、人権のまちづくりの実践、講演活動や人間関係トレーニング、企 業研修、自然と人をつなぐインタープリテ ション等幅広く活動しておられます。